

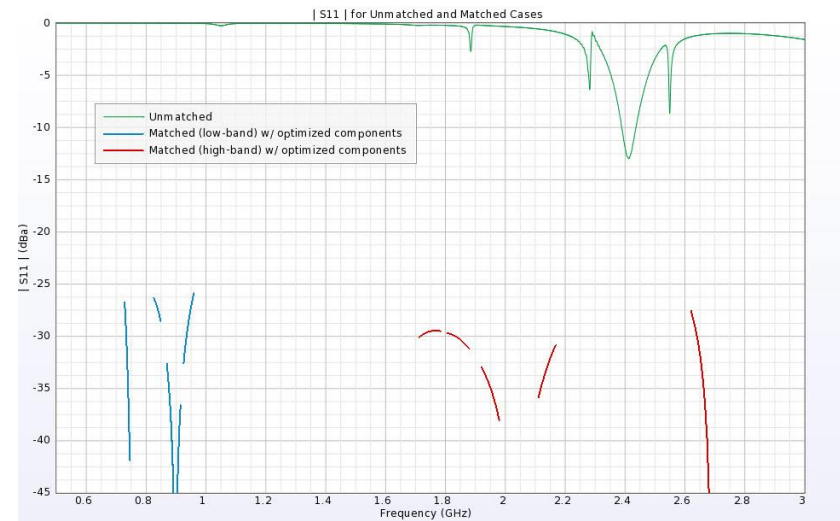
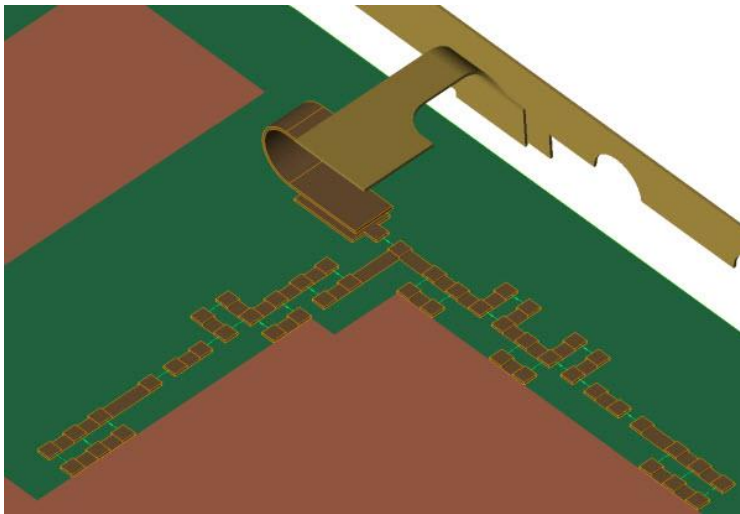
XFDTDバージョンアップ情報 7.5.0

- 回路最適化機能
- 静電容量マトリックスによる静電ソルバー
- 時間依存性を持つ材質
- シミュレーションのソフトキル

回路最適化機能

- ✓ 回路設計に影響を与える解析空間すべての状態を考慮し、回路素子(インダクタンスやキャパシタンス)の値をターゲット周波数に合うように最適化します。
- ✓ 詳細は開発元のWebサイトをご覧ください。

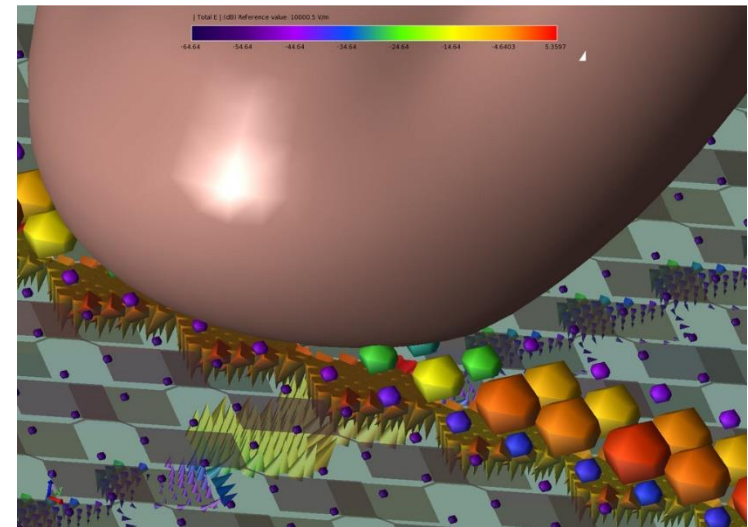
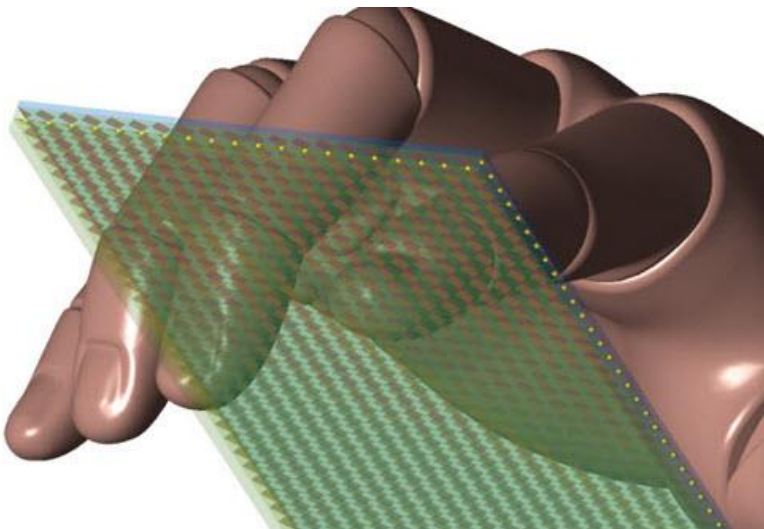
<https://www.remcom.com/xf-circuit-element-optimizer>



静電容量マトリックスによる静電ソルバー

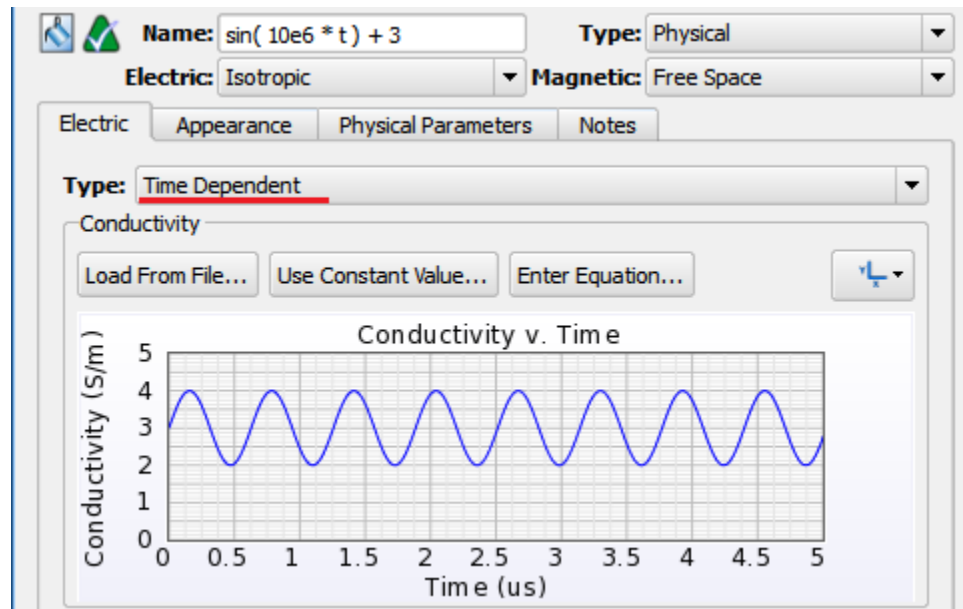
- ✓ 投影型の静電容量方式のタッチスクリーンにおける、センサーパターンの評価・設計に適した機能です。
- ✓ 基材やタッチペンなどの物性値を考慮した静電解を求め、静電容量マトリックスや電圧分布、電界分布を表示できます。
- ✓ 詳細は開発元のWebサイトをご覧ください。

<https://www.remcom.com/touchscreen-capacitance/>



時間依存性を持つ材質

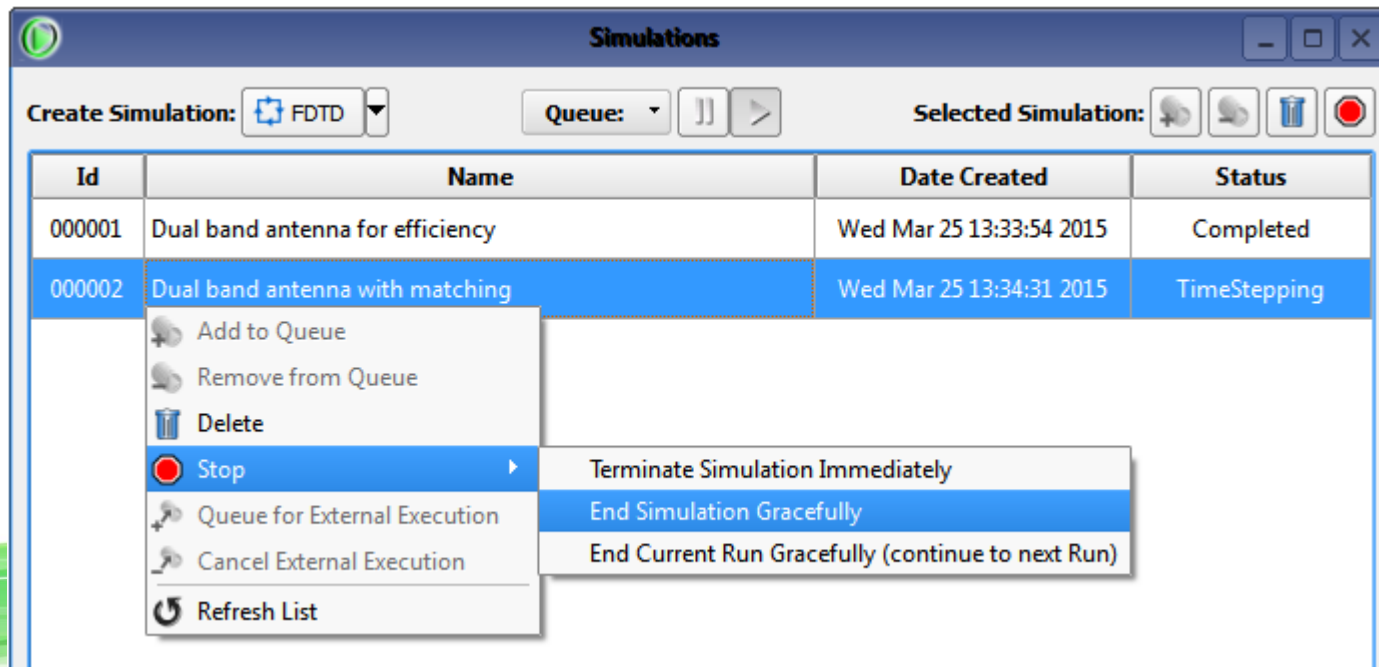
- ✓ 誘電率と導電率を時間の関数として指定できます。
- ✓ 入力方法は、定数値として指定、ファイルからロード、方程式が利用できます。
- ✓ シミュレーションのタイムステップが時間の経過とともに進むと、それに応じて材料特性が変化します。



設定画面のスクリーンショット

シミュレーションのソフトキル

- ✓ FDTDシミュレーションは、初期化、タイムステップング、定常状態の後処理、出力の書き込みという段階を経て進行します。
- ✓ ソフトキル機能により、シミュレーションのタイムステップングを終了し、定常状態の後処理に進むことができます。
- ✓ UIから、シミュレーション画面で実行中のシミュレーションを右クリックして停止を選択することで、タイムステップングを終了させることができます。



開発元のバージョンアップ情報ページ

この他のバージョンアップ項目や詳細情報は開発元のWebサイトよりご確認ください。

<https://support.remcom.com/xfdtd/releases/release-7-5-0.html>